

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年5月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101250
法人名	社会福祉法人 厚德会
事業所名	グループホーム 大竜 (さくらんぼ)
所在地	鹿児島県鹿児島市大竜町6番8号 (電話) 099-248-5541
自己評価作成日	令和2年5月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年7月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・敬老会、忘年会、家族会等を実施し、利用者様やご家族との親睦が深められるようにしている。毎月、行事やドライブ、誕生会等を企画開催し、季節や節目を感じることができるよう、支援を行っている。
- ・利用者様の状態に応じた食事内容や形態の工夫を行い、体調や健康維持に努め、食の楽しみを大切にし支援を行っている。メニューの中に、自施設の菜園で収穫した野菜や果物を取り入れている。
- ・主治医回診、居宅療養管理指導、訪問歯科、関連病院PTによる生活機能評価等、医療関係者との連携を図り、状態に応じた援助や個別の機能訓練を実施している。看護師を配置し、日常の健康状態の把握や健康管理を行い、利用者ご家族の希望により、看取り介護も実施している。
- ・防災訓練を年4回実施し、消防署の指導や助言以外にも、地域住民の方の協力をいただいで訓練も実施している。また、地域の防災訓練にも参加している。避難者名簿の作成、防災グッズの準備、炊き出しを想定した非常食の提供訓練と備蓄管理等実施して緊急時に備えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ご利用者の立場に沿った方針を基に、理念を作り毎朝唱和し実践に繋げている。新任のオリエンテーションでも説明している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、地域の交流の機会をつくっている。防災訓練での避難誘導も協力をいただいている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	相談を受けたり、運営推進会議などで説明や助言を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での運営内容や実情を定期的に報告し、相談やご意見を伺ったり、地域の状況を確認し向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>サービス提供において、分からないことを確認したり、年に一回介護相談員の派遣で、気づきをいただき改善に繋げている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の具体的な行為について、勉強会や定例会で振り返りを行い、理解に努めている。身体的な拘束以外にも、行動制限につながるような言葉かけがないか、事例検討を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会や定例会等で虐待防止について学び、常に意識できるように、朝礼時に唱和している。また、ヒヤリハット報告書をもとに検討を行い、運営推進会議等で家族に報告を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>新任オリエンテーション時に制度の説明を行っている。ご利用者で制度の利用をされている方には、必要時職員へ説明している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に、内容を説明し不明な点など確認し、入居時に再確認している。改定等は家族会や文書などで説明同意をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者からの要望はカンファレンス等での出し合い、家族からは家族会や面会、運営推進会議等でご意見等をいただくようにしている。いただいたご意見等は職員会議で説明し改善できるように努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、定期的に会議を開き改善点がないか確認し、意見があれば、皆で話し合い決めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は年に一回人事考課を行い代表者との面談を行っている。管理者は個別に面談を行った。勤務希望や向上心を確認し技量に合わせて、資格取得や役職を命じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の技量に応じて、外部研修に参加し発表の場を設けている。内部研修も行い、外部からの講師も依頼している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所がグループホーム連絡協議会の会員になっており、研修参加で意見交換や他事業所の状況を知る機会がある。法人内での事業所交流は行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に訪問又は、見学を実施し、状況把握できるように努めている。入居時は不安やわからない事がないか尋ねたり、細目に言葉かけを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に見学を兼ねて訪問していただき、状況を確認し要望など確認している。入居時お互いに気づきを伝えあえるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に情報収集しておき、必要な事を確認したり、受けられるサービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の生活習慣をもとに家事やテラスでの外気浴、園芸、近隣の散歩等、趣味的な活動を一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	自由に面会していただき、その際に近況報告を行っている。希望に合わせ、外出や外泊をしていただいている。また、定期的に家族会や運営推進会議、家族参加の行事を開催し、交流を図り、意見交換等を行っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	自由に交流をもつていただき、面会時は、居室や和室、テラスを利用していただいている。又電話や手紙、外出、外泊も個別に行っている。		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	洗濯物たたみなどの家事作業やレクリエーションを通して、入居者様同士が関われるように支援に努めている。和室にソファを置き、自由に利用者同士が交流できるように環境作りに努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退居時に、相談や協力できること等を説明しながら、必要時行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と家族の意向の聞き取りを行っている。それ以外にも日頃の援助の中からも、希望が引き出せるように支援を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居時の面談で本人や家族から、生活歴、既往歴等をお聞きし、情報を共有している。医療関係者や施設関係者からも情報をいただき、参考にさせていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、バイタルチェックや食事摂取量の確認、排泄状況の確認を行い、本人の様子や言動を記録し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人と家族から希望を伺い、ケアスタッフ、医療関係者等の意見も参考にしながら、ケアプランの作成に当たっている。毎月のモニタリングで実施状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施した個別サービスを記録し、本人の言葉もそのまま記録するように努めている。余暇活動や機能訓練等について、記号を設定し、ケアプランの実施状況の把握に必要な情報を記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別に要望に応じて、できるサービスを検討し、可能なら取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の幼稚園交流や敬老会、あいご会交流、定期的なボランティア受け入れを行っている。校区の運動会参加やホーム周辺の散歩を通して地域資源の協働に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認を行い、協力病院の希望時は受診の付き添いの協力を行っている。往診可能な病院とも連携を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に常勤看護師の健康チェックに行っている。オンコール体制をとっており、勤務時以外のも報告相談を行い、必要な支援の実施に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に主治医から病状を確認し、入院中は関係者と連絡を取り、家族へ状況を伝えたり家族の意向も伝えている。退院の予定は予め連絡が入る。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針をもとに、家族へ説明している。看取りの希望時は主治医の判断の上、医療連携が取れた場合受け入れ、家族の協力もいただいている。職員へは、看取り時の勉強会や具体的な対応など、確認している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>常勤看護師により、勉強会と週1回の健康チェックを通して、急変時や状態変化に対応出来る様助言している。急変時の対応のマニュアルを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年4回防災訓練を行い、消防署や地域住民の協力をいただいている。防災頭巾を使用し避難できるように対応し、迅速に避難するための介助方法の確認も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の近くでの言葉掛けに努めているが、時には大きな声での言葉かけ、命令口調、友達言葉を使用している場面がある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を会話の中で表出できるように言葉かけを心掛けて、できるだけ本人の自己決定を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の過ごし方を職員間で共有し、ペースに合わせる努力をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時や行事などで季節に合った衣類の調整を行い、好みの上着、整髪などに留意している。訪問美容を定期的にご利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れ、個別の食事形態や嗜好調査を実施している。食材の下処理や片付けなど職員と一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に量を調整し、ミキサーやトロミ、切り方の工夫を行い提供している。食欲不振の方は補食を行い、水分量の少ない方は好みの飲み物を飲用していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に口腔内の状況が異なるため、義歯の方には職員介助のもと義歯の手入れをし、口腔内の清潔に努めている。自歯の方はなるべく本人に磨いていただき、後で磨き残しを確認し、介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人のその日の心身の状態に合わせて、排泄時間を考えて声掛けし、支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時にヨーグルト、お茶等お出しし、個別に乳酸菌飲料を飲用していただくよう支援している。体操の他にも個別に室内歩行や散歩を毎日行っている。排便困難な場合は、内服や坐剤を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や安全面に配慮し、本人の希望に添えるように支援しながら実施している。断られる方や体調不良の方へは清拭や足浴等保清に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操や日光浴をその時の体調に合わせて行い、安眠に繋がるよう努めている。寝具や寝衣などの調整や清潔保持を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状に応じて主治医・薬剤師・看護師に相談し、定期的に薬剤師が訪問し助言をいただいている。定時の服薬が難しい場合は時間をずらして対応するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者に合わせた嗜好品の提供や居室での過ごし方など、希望に添えるように努めている。外気浴や散歩を取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お花見や校区運動会、そうめん流しなどの季節行事に可能な限り参加していただいている。ドライブや散歩、買い物等、一人一人のニーズに合わせて支援している。ご家族との外出時に情報を共有し、希望に添い実施できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	個別に応じて所持したり、必要な物がある場合は、購入の援助や買い物への付き添いを行っている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人の希望があれば、電話でのやり取りを実施している。直接会話ができない場合は、代わりに意向をご家族に伝えている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共有空間のすべてに清潔感を心掛け、入居者が落ち着いて過ごしていただけるように、季節ごとの作品を作り展示し、居心地よく過ごせるように工夫している。空調や遮光なども調整に努めている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ご利用者の趣味嗜好に合わせて会話が出来たり、個々に好きな事ができるような環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>理念をもとに、ベッドメイキングや衣類の整理など、心地よく過ごせるような居室づくりをしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者の状態に応じて、手すりの使用や歩行の見守りを行い、必要に応じて介助を行っている。個別に目印になる物を明示している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない